

1年保健体育科 学習指導案 授業者 森祐樹

1 単元の概要

単元名 「私たちが、私たちらしく生活していくには？」

授業の概要：思春期を生きる自分たちの心と体を理解し、1人1人が自分らしく生活していくための必要かつ実現可能なアイデアを考え、提案しまとめる。

	目標	評価規準	評価資料
知識 ・技能	思春期には、多くの器官が発育し、それに伴い生殖機能等様々な身体機能が成熟することや、精神機能が発達することについて理解する。	思春期に起こる心身の機能の発育発達について理解したことを言ったり書いたりしている。	ワークシート/テスト
思考 ・判断 ・表現	心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択しそれらを伝え合うことができるようになる。	心身の機能の発達と心の健康における事柄や情報について、個人生活や社会生活と関連付けて自他の課題を発見している	ワークシート/スライド
主体的に学習に取り組む態度	自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組める。	心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	毎時間のふりかえり/授業態度

2 単元の展開

単元の流れ（全10時間）

1	身体機能の発育発達を理解しよう① 思春期とはどのような時期なのか基礎的な知識を身に付ける
2	身体機能の発育発達を理解しよう② 身体測定の結果から自分自身の成長について考える
3	生殖に関わる機能の成熟を理解しよう
4	性の多様性の視点から日常生活における改善点を考えよう
5 ・ 6	精神機能の発達と自己形成について理解しよう
7 ・ 8	欲求やストレスの対処と心の健康について理解しよう
9 ・ 10	私たちが私たちに楽しく生活していくためには、どんなことができるのかについてまとめよう！

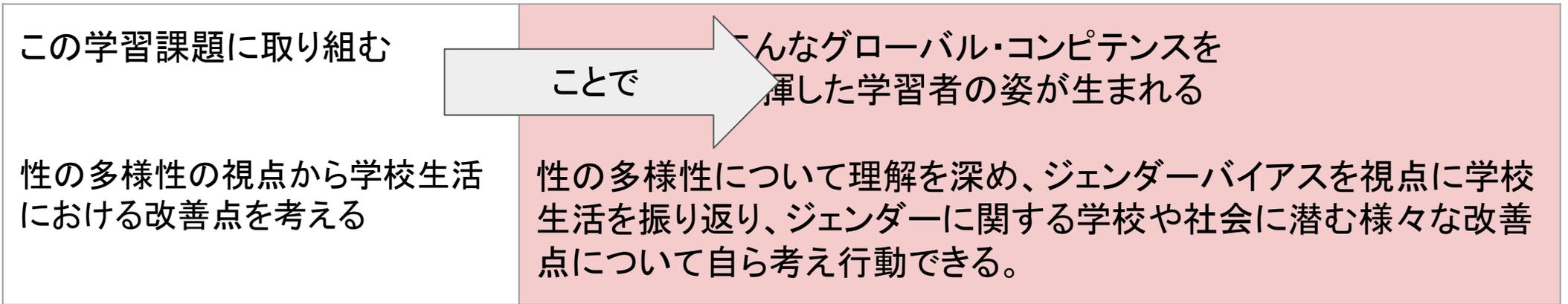
本時（4 / 10時）の流れ

本時の目標

性の多様性やジェンダーバイアスを視点に学校生活を振り返り、日常に潜む問題点や改善点を発見し話し合う

1. 前回の授業の復習(男らしさ、女らしさを求めてしまう潜在意識について)
2. 性の多様性を知る。
3. 日常生活や社会に潜むジェンダーバイアスを調べる。
4. 日本のジェンダーギャップ指数について知る。
5. 日常に潜むジェンダーギャップについて考える。
6. 考えを発表し、互いの気づきを共有する。

本授業で育てたいグローバル・コンピテンス



焦点化して育みたいグローバル・コンピテンス

定義	<p>【グローバルな問題の発見・検討】 地域、世界、異文化間の問題を検討し、</p> <p>【異文化・他者理解】 他者の視点と世界観を理解し認め、</p> <p>【異文化間交流】 異なる文化を持つ人々とオープンで適切で効果的な関わりを持ち</p> <p>【企画・行動】 共同体の幸福(ウェルビーイング)と持続可能な開発のために行動する能力</p>			
要素	<p>知識</p> <p>グローバルな問題や、異文化理解に関する知識。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地理的知識 2. 歴史的知識 3. 社会・文化的知識 4. 経済的知識 	<p>スキル</p> <p>異文化間コミュニケーションや、グローバルな問題の解決、批判的思考などのスキル</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 異文化間コミュニケーションスキル 2. 問題解決スキル 3. 批判的思考スキル 	<p>態度</p> <p>異文化、他者への理解と尊重を深める積極的な態度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開放的で柔軟な態度 2. 他者を尊重する態度 3. 社会的・環境的責任を果たす責任感 	<p>価値観</p> <p>異なる文化を持つ人々との協力と対話を促進する価値観</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公平性と公正性 2. 持続可能性 3. 平和(対話・協力・共存)